

鳥羽小学校建設基本設計公募型プロポーザル一席当選案

株式会社
西井都市建築設計事務所

鳥羽小学校 建設基本設計プロポーザル

○鳥羽らしい小学校

学年教室は木造とし、集落や島のイメージをします。管理諸室は海に浮かぶ船をイメージします。中庭はリアス式海をイメージさせます。



○大きな家をつくる

子どもたちにとって昼間の生活の半分は学校での時間です。学校は第二の家です。学年教室は木の温みのある大きな家をつくりまします。地域にとっても学校は活動の拠点です。子どもから老人まで町の人たちが立ち寄りたくなるような、大屋根の架かった地域の大きな家をつくりまします。

○和の空間のある学校

学年教室を一つの家と考えます。学年教室前には濡れ縁が付き、学年ごとに庭を持ち、それぞれシンボルツリーがありまします。またこの和室の上部にはデン(穴倉)を設け子どもだけの空間とします。

○中庭のある小学校

運動のためのグラウンドとは別に、教室前の中庭を設けます。ここは学年ごとに庭を持ち、それぞれシンボルツリーがありまします。またピオトープや低学年教室の前は遊具のある遊び場となっています。



道路から中庭の様子がよく見える特別教室棟



○土の場外撤出を最低限とするコスト削減の工夫
場内の土砂はレベル設定の工夫により、極力場外搬出は行いません。



中庭のある瓦屋根のかかる平屋の学校

○セキュリティを考えた小学校
学校の入口は1箇所にまとめ、管理諸室から良く見えます。管理諸室からはグラウンド・学年教室・特別教室が見えます。学年教室中の教師コーナーからも様々な場所が見渡せます。地域の入口は別に設け、学校と動線を区別します。



○将来の地域開放ゾーンの変更に耐える計画
現在の、屋内体育館の地域開放活動は、将来の生涯学習活動の発展を考慮して特別教室ゾーンも段階的に開放できるつくりとします。



○屋内体育館周りの遊憩所としての工夫
1次遊憩所として屋内体育館には大型トラックが直接横付けでき、救護物資を搬入できます。トイレは直に設け、雨水や井戸水を使った給水が可能、実習室は炊き出しが可能な設備



○植壁の工夫による広いグラウンド
隣接崖地の処理は緑の植壁として、自然法ではなくグラウンド面積の有効活用を図ります。この植壁は運動会などの時は観覧席としても使えます。



○準耐火構造の学校
構造は教室は家のイメージとし木造、特別教室棟、屋内体育館は、防火等を考慮、壁は鉄筋コンクリート造、屋根は木造とします。管理棟は機能的に鉄筋コンクリート造とします。全体としては、耐火性、防火性を考慮準耐火構造とします。



○環境を考えた学校
オープンスペースの音の問題についても、専門家からの意見を取り入れつつ、グラスウールなど吸音性能のある材料を使用して工夫をします。これらを通して、総合的な学習の材料に活用できるように、雨水の利用量、太陽発電量など情報を提示するパネルを設けます。



鳥羽小学校 建設基本設計プロポーザル



自然採光と木造のランチルーム

木造の学年教室

学校の中心となる回廊

シンボルツリーのクスが見える中庭